

市政一般質問

9月定例会では17名の議員が質問を行いました。
主な内容をご紹介します。



防犯・防災

学校施設の防災機能について

古閑森 秀幸 議員

Q 学校施設を地域の避難施設としているが、体育館などの天井や蛍光灯、窓ガラスなどの耐震化についてのどのような対策を行っているのか。

A 平成18年度から校舎及び体育館の耐震補強工事を実施している。平成24年度末の耐震率は95%、平成26年度末には100%となる。また、天井、窓、照明器具等の非構造部材の耐震化についても、今後、計画的に整備したいと考えている。

地域防災計画及び

総合防災訓練について

三浦 正司 議員

Q 平成25年度長崎県地域防災計画の策定やこれまで検討してきた結果を受けて、本市の地域防災計画の見直しや修正事項はどうなっているのか。また、9月8日に実施された総合防災訓練の成果

と自主防災組織における訓練との関連やあり方についてどのように考えているのか。

A 県の地域防災計画には、本市の計画に影響ある内容がなかったため、経年変化による数値の見直しを行い、修正事項については、機構改革による各部各班の見直し、ボランティア班の設置、航空機災害への具体的な応急対策などの修正を行った。また、自主防災組織については、公民館等で訓練されているが、総合訓練という大きな場所に参加することの必要性を感じている。

通学路安全マップの充実を

田中 守 議員

Q 大雨や地震などの自然災害や交通事故、犯罪の被害から子どもたちを守ることを目的に多くの学校で小学校区別「安全安心マップ」の作成に取り組みされているが、印刷代などで困っている学校もあると聞いている。尾張旭市のように白地図データを配信し、PTAの協力を得ながら各学校で安全マップを作成する取組みが得意なかが。

A 安全マップを簡単に作成できるようにすることは長年の課題である。本市は、白地図のデータベース化といったコンピュータ管理をしておらず、パソコンで白地図を取り出せないのが現状である。早急に白地図をスキャナで読み込み、学校に提供できる素材を作りたいと思う。

重大事故防止の安全対策を

田中 守 議員

Q 市役所前の大村小学校出入口交差点の危険性は、市PTA連合会から環境整備要望箇所の陳情や通学路対策箇所として指摘されているが、一向に進展していない。ドライバーと歩行者や自転車それぞれの立場で考えると重大事故が発生する危険性が非常に高い。一刻も早い安全対策が必要だと考えているが、その後の進展はどうなっているのか。

A 市役所前の交差点については、関係者が協議され、要望されていた歩行者用の信号機と横断歩道を今年10月中には整備できるということを警察に確認している。また、防音壁については、